



栃木県立栃木工業高等学校

全
日
制



所在地 〒328-0063 栃本市岩出町129番地
 電話 0282-22-4138
 F A X 0282-22-4146
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/tochigikogyo/nc2/>
 創 立 昭和37年
 課 程 全日制課程
 設置学科 機械科 電気科 電子情報科
 生徒数 477名(男子467名 女子10名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 栃木駅(J R 両毛線・東武日光線)から徒歩40分
 (自転車15分)最寄りバス停より徒歩1分

I 学校の概要

1 学校教育目標

国際社会を生きる心豊かな人間性を養い、地域社会から信頼され、期待される工業人を育成する。
 ○主体的な実践力の育成 ○個性の伸長 ○情操の涵養

2 目指す学校像

○ものづくりを支える総合的な力を身に付け、地域社会から信頼・期待される技術者を育成する学校
 ○国際感覚をもち、心豊かな人間性をもつ技術者を育成する学校

3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒であり、志望動機・理由が明確で、将来の進路目標をもち、学校生活に積極的に取り組む意欲があり、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する生徒

(1) 志望学科の特長を理解し、工業の知識や技術を身に付けようとする学習意欲のある生徒

(2) ものづくりのための技術習得及び資格取得に意欲的に取り組める生徒

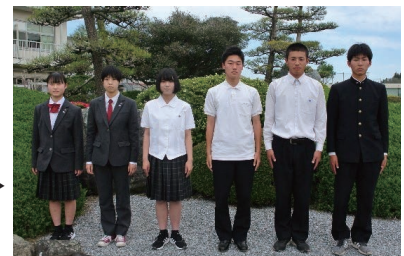
(3) 部活動、ボランティア活動、生徒会活動、ものづくり活動などに積極的に取り組める生徒

4 施設・設備

工業高校として、専門科目の実習用施設・設備を充実させている。

- ・工業科実習棟(機械科、電気科・電子情報科)
- ・管理棟 ・教室棟 ・家庭科実習棟
- ・体育館 ・武道場 ・弓道場 ・プール
- ・校庭(野球場・サッカー場・テニスコート)

本校の制服→



II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

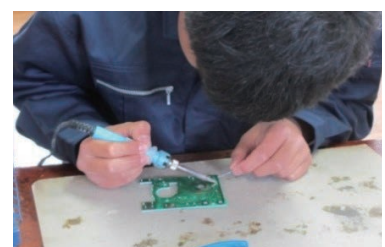
1 学校の特徴

本校は、昭和37年に創立し、県南地区専門高校の中核として社会の変化や高度化に対応しながら、工業界をリードする活力ある人材を輩出してきました。平成30年度入学生までは機械科、電気科、電子科、情報技術科の4科構成でしたが、平成31年度入学生からは電子科と情報技術科が統合改編され、機械科、電気科、電子情報科の3科となりました。各科とも科の特長に応じた活動を通して、ものづくりを支える総合的な力を身に付け、地域社会から信頼され活躍できる技術者になることを目指しています。

さらに、本校は「和顔愛語」を校訓とし、工業を支える技術者を目指すのはもちろんのこと、心豊かな人間性を身につけることも重要であると捉え、教育活動を行っています。

2 学習内容

各学科の目標を実現するためのカリキュラムを編成しています。3年間を通し、国語、数学、英語等の共通科目と各学科の専門科目がおおよそ半半ずつ学べるようになっています。1年次は共通科目を多く学び、学年の進行に伴い、実習等を含む専門科目を多く学ぶようになります。特に、3年次には、自ら研究テーマを定め、指導者の助言のもと、グループごとに学習を進める「課題研究」の時間があります。



(1) 機械科

私たちの身の周りにある自動車・電化製品などの工業製品は、たくさんの部品からできています。機械科では、このような工業製品を作るために必要な知識や技術、加工方法と機械を動かす制御方法など、実践的な内容を幅広く学習します。

(2) 電気科

私たちの生活に、電気はなくてはならない技術です。照明などはもちろんですが、テレビ、スマートフォン、鉄道、電気自動車、工場の生産設備など全てにおいて電気の知識技術が必要とされています。電気科では電気を扱うために必要な知識、技術を基礎から身に付けることはもちろん、電気を作る方法や電気を制御する方法、通信技術など広く社会に必要とされることも学習します。

(3) 電子情報科

電子情報科では、電子回路やコンピュータ技術について学習します。「プログラミング」やロボットを制御する「マイコン組込み」、機械加工や電子工作をはじめとした「ものづくり」「電子回路」などを幅広く学びます。工業の各分野において、「情報通信技術（ICT）」を主体的に活用できる能力を身に付けることを目標としています。

3 取得可能資格

(1) 機械科

機械製図検定、二級ボイラー技士、3級技能士（機械検査・普通旋盤）

(2) 電気科

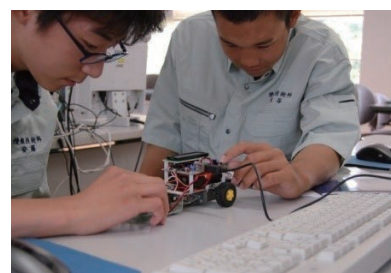
第二種電気工事士、第一種電気工事士、第三種電気主任技術者、工事担任者（第二級デジタル通信等）

(3) 電子情報科

パソコン利用技術検定、工事担任者（第二級デジタル通信等）、ITパスポート、基本情報技術者

(4) 各科共通

危険物取扱者乙種全類、計算技術検定、情報技術検定
ガス溶接技能講習、工業英語検定、日本漢字能力検定



Ⅲ 進路状況

1 令和2年度進路状況

学科名	卒業生徒数	進学（20.5%）								就職（79.5%）					合計	その他
		国公立大学	私立大学	短期大学	高専編入学	公共職業能力開発施設等	各種専門学校・専門学校等	その他	合計	県内	県外	公務員	縁故	自営	合計	
機 械 科	78	0	1	0	0	2	8	0	11	53	13	0	0	1	67	0
電 気 科	40	0	3	0	0	0	1	1	5	28	5	2	0	0	35	0
電 子 科	38	0	3	0	0	0	3	0	6	27	5	0	0	0	32	0
情報技術科	39	1	4	1	0	2	10	0	18	19	2	0	0	0	21	0
学 年 計	195	1	11	1	0	4	22	1	40	127	25	2	0	1	155	0

求人数：県内企業（464社） 県外企業（690社）

2 主な進学先（過去3年）

(1) 4年制大学

宇都宮大学、群馬大学、足利大学、作新学院大学、拓殖大学、帝京大学、東京電機大学、千葉工業大学、日本工業大学、日本大学、ものづくり大学

(2) 公共職業能力開発施設等

関東職業能力開発大学校、栃木県立県中央産業技術専門学校

(3) 専門学校等

太田医療技術専門学校、日産栃木自動車大学校、マロニエ医療福祉専門学校、宇都宮ビジネス電子専門学校

3 主な就職先（過去3年）

- (1) 製造関連
(株) 東光高岳、日立グローバルライフソリューションズ (株)、キヤノン (株)、ファナック (株)、古河機械金属 (株)
- (2) 自動車・運輸関連
日産自動車 (株)、本田技研工業 (株)、(株) 小松製作所、日野自動車 (株)、いすゞ自動車 (株)、トヨタ自動車 (株)
- (3) 電気・通信・ガス関連
(株) 関電工、(株) NTT東日本、(株) NTT-NE、(株) TKC
- (4) 鉄道関連
東武鉄道 (株)、東日本旅客鉄道 (株)、京王電鉄 (株)、小田急電鉄 (株)、西武鉄道 (株)
- (5) 医療関連
(株) ナカニシ、(株) 大協精工、ビー・ブラウンエースクラップ (株)、(株) タスク

IV 特別活動の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

1 主な学校行事

- | | | | |
|-----|-----------------------------|-----|------------------------------------|
| 4月 | ・入学式
・創立記念遠足
・生徒総会12月 | 11月 | ・学校祭
・マラソン大会
・期末テスト |
| 5月 | ・中間テスト
・球技大会 | 1月 | ・学年末テスト（3年生） |
| 6月 | ・芸術鑑賞会
・期末テスト | 2月 | ・予餞会
・生徒活動報告会
・学年末テスト（1・2年生） |
| 7月 | ・インターンシップ（2年生） | 3月 | ・卒業式
・工場見学（1・2年生） |
| 8月 | ・学力テスト | | |
| 10月 | ・修学旅行（2年生）
・中間テスト | | |



2 福祉教育活動について

福祉教育活動は本校教育活動の柱の一つであり、各種ボランティア活動に積極的に参加しています。本校独自のものとして、主に以下の活動を実施しています。

- (1) 工業高校としての特徴を活かし、パソコンを使った栃木特別支援学校との交流（福祉委員中心）や、車いすの修理活動を通じた福祉施設との交流（福祉機器製作部）を行っています。
- (2) 故障した車いすを譲り受け、それを修理して東南アジアやアフリカ諸国の施設へ贈る「空飛ぶ車いす活動」を行っています。寄贈した車椅子の数は、2千台に達しています。
- (3) 毎年、生徒・職員がタイ王国に出向き、福祉施設や学校を訪問し、車いすの修理活動を行っています。（タイ王国ボランティア交流研修）
- (4) 授業で学んだ知識と技術を活かし、地域の小中学校からの修繕や製作の要請に対し、できるかぎり応える活動を行っています。（栃工テクノボランティア）

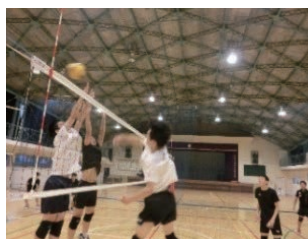


3 部活動と活動状況

運動部	文化部（文化系）	文化部（工業系）
1 野球部	1 写真部	1 無線通信部
2 陸上競技部	2 将棋部	2 電算機部
3 バレーボール部	3 美術・アニメ部	3 福祉機器製作部
4 バスケットボール部		4 原動機部
5 サッカー部	○部活動加入率	5 ロボット研究部
6 テニス部	88.5%	6 電気技術研究部
7 ソフトテニス部	[422名／477名]	7 機械研究部
8 卓球部	令和3年7月30日現在	
9 剣道部	[令和2年度全国大会出場]	
10 空手道部	空手道部	
11 バドミントン部	[令和2年度関東大会出場]	
12 弓道部	写真部、原動機部	
13 水泳部		

4 工業高校ならではの活躍（令和2年度）

とちぎものづくり選手権 電気工事の部 銀賞・銅賞
とちぎものづくり選手権 競技部門 電気工事職種 高校生の部 金賞
とちぎものづくりフェスティバル2020【溶接競技】高校生部門 第2位
第11回 関東甲信越高校生溶接コンクール優良賞（第4位）
栃木県工業関係高等学校生徒研究発表大会 出場



V 特色選抜について

1 定員の割合

機械科 30%程度
電気科 30%程度
電子情報科 30%程度

2 出願するための資格要件

本校を強く志望する生徒で、基本的な生活習慣及び基礎学力がしっかりと身に付いており、次の（1）から（3）までのいずれかに該当する者

- （1）希望する学科への興味・関心が高く、入学後も意欲的に学習や資格取得に取り組むことができる者
- （2）ものづくりやボランティア活動に積極的に取り組んだ経験があり、入学後も意欲的に活動を継続できる者
- （3）中学校時代にスポーツ、文化活動、生徒会活動などにおいて、優れた能力または実績をもち、入学後も学習と両立させながらそれらの活動を継続できる者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間15分程度
作 文	時間40分 字数400～500字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の70%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は受検者の70%以内にある者）で、面接・作文の評価がともに良好である者、もしくは適性があると認められた者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。